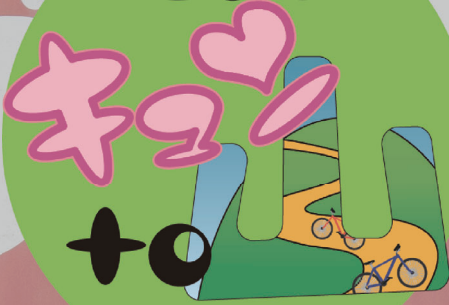


さよし



廿日市市  
地域支援員だより

2023

夏号

# ナガタストアー



## 特集

### 3年間の任期を終える 定住推進担当地支援員の活動の軌跡

～表紙の写真～

津田地区「ナガスタ（旧ナガタストアー）」前にて、任期期間中支援して下さった皆さんと。

## 地域支援員とは

それは、地域情報を発信したり、一緒に地域おこし活動をしたり、地域内外の交流をはかったりしながら、地域の力を強くするために廿日市市の職員として1年単位で任用された人のこと。

任期は最長で3年間。その限られた時間の中で、何をやっているのか、佐伯地域でどんな動きがあるのかを知ってもらいたくて、この冊子を作りました。年に4回、お届けします。

定住推進担当地域支援員の

# 活動の軌跡



令和5年7月31日をもって、定住推進担当地域支援員の任期を満了する中井です。今号では、任期中の主な活動についてまとめました。ぜひ、ご覧ください！



2023年7月31日

## 地域支援員 卒業

令和5年8月1日からは、3代目の定住推進担当地域支援員が任用開始予定です。

2023年3月21日

## 空き家つながるはつかいち

無印良品とのコラボイベントを開催！多くの方々に空き家に対する関心を抱いていただくことができました。

2022年12月10日

## 空き家活用見学ツアー in はつかいち

移住者に人気の浅原地区の空き家活用事例や多様な暮らしをまるごと味わえる見学ツアーを開催しました。



空き家見学ツアーMovie



2022年6月11日他

## 移住フェアへの参加

3年振りの開催となった移住フェアに参加しました。VRなど用いて、関東の方々に廿日市市の魅力をPRしました！

2022年4月1日

## はつかいち空き家バンクホームページ開設

「360度バーチャル内覧」や「ドローンビューアー」などの最新技術を用いて、空き家の情報を発信しています！

空き家バンクホームページ

2021年1月  
～ 2022年3月

## 市営向原住宅リノベーションワークショップ

浅原地区にある市営向原住宅の一室を、全9回のワークショップを通してリノベーションしました。

市営向原住宅  
リノベーションWS Movie



2020年8月1日

## 地域支援員 任用開始

三年間を  
振り返って

「コロナ禍の中、飛び込んだ地域支援員の仕事。まん延防止等重点措置が発表される度に、地域の行事や企画していた取り組み、空き家の現地調査や内覧が中止され、上手くいかないことが多くありました。だからこそ、自分の培ってきた経験やスキルを活かして、違ったアプローチで空き家について取り組んだのが、「360度バーチャル内覧」や「ドローンビューアー」などの最新技術を用いた廿日市市空き家バンクホームページ制作でした。開設から約一年が経過し、毎月全国から多くの方々にホームページを見ていただき、最近では物件が公開になってから数日で成約に至るケースも多くなってきました。また、これらの取り組みについて、テレビや新聞に取り上げていただいたことも良い思い出になりました。引き続き、この廿日市市空き家バンクホームページが廿日市内の空き家問題解決の一助になれば幸いです。

最後に、3年間、多くの方々にお世話になり、支えていただき活動することが出来ました。広島に移住してきた自分にとって地域支援員の活動を通して、多くの方々とお出会うことは、これからの人生の大きな財産になると思います。本当にありがとうございました。

(定住推進担当地域支援員  
中井 皓二)

はじめまして。令和5年4月から佐伯高校魅力化担当の地域支援員として任用されました、稲田 元樹(いなた もとぎ)と申します。



Q1:応募した動機は？

佐伯高校魅力化の地域支援員募集の説明会に参加した際、生徒のみんなにすれ違わたり「こんにちは〜！」と目をきらきらと輝かせ挨拶をしていただきました。こんなに自信を持って楽しそうに過ごすことのできる学校は、きっとすてきな学校なんだろうなあと感じました。実際に佐伯高校は魅力的な授業や取り組みがたくさんあり、私はすぐに高校のファンになりました。私自身関わってみたい、もっとたくさんの方に知っていただきたい！という思いも芽ばえ、応募いたしました。

Q2:今後の抱負は？

まずは佐伯高校の生徒のみんなや先生方、地域の方々の事をたくさん知りたいたいです。

思っています。今ある魅力はどんなことなのか、廿日市市外から来た私だからこそ気づくことのできる、隠れた魅力がきつと発見できると考えています。そして、佐伯高校の学校行事やイベントをサポートしていく上で、学校や地域の魅力を一緒に向上していきたいです。

早速、今年度の佐伯高校生の素敵な活動についてお伝えさせていただきます。



いちごを使った商品開発に  
取り組むチーム  
いろいろな色形のいちごを食べ比べ、  
どんないちごが美味しいのか、どんな  
風に加工しようかと考える  
生徒たち。



佐伯高校魅力化

1年越しに撮影された生徒の成長の様子、下宿先のインタビュー等が動画でご覧いただけます。



地域の観光マップ作り・定住政策に取り組むチーム「津田商店街ココから2Days」には記載されていないお店や会社を載せた、新しいマップを制作しようと商店街に訪れました。

浅原地区では平成15年に「活気ある浅原づくり いきいきプラン」というビジョンを作成し、それから現在まで20年の月日が経ちました。そして令和3年から2年間の時間をかけ「あさはらビジョン」がようやく完成しました。

令和3年度には浅原まちづくりアンケートを実施し、浅原の11の町内会にアンケート報告会をしました。令和4年度にはアンケート結果を深掘りし、住民が本音で思いを語り、将来の浅原のありたい姿(ビジョン)を共有するためのビジョンづくりワークショップを全3回開催し、令和5年6月3日に新しいビジョンのお披露目会を実施しました。



ながそれぞれがやりたいことを認め合い、その違いを活かして未来をつくったり、浅原に関わる他の人へ声をかけるとしたらどんな言葉が響くか3回目ワークショップの参加者のみんなで一生懸命考え捻りだしました。

このワークショップで、事務局が特に工夫したことは、参加者全員がペンを持って自分の意見を書き込める環境を作ることでした。参加者全員が主体的に参加することが重要だったからです。

私があさはらビジョンづくりを通じて感じたことは、多くの浅原の住民が目的意識を持って活動している一方で、平穩に暮らすことを望んでいる人もいます。浅原で誰もが安心して暮らし続けられるようにするにはやはり、「人」がとても重要なキーワードであることを改めて気づかされました。

今回のビジョンは描くことが目的ではありません。むしろ、描かれたビジョンを実現するための仕組みづくりや行動を今後進めていく必要があります。いつか、ビジョンのイラストと同じような光景を撮影できることを願って、私たちは歩み続けます。

(西本 智詞)

冊子の表紙に書かれた呼びかけは「あなたは浅原で何したい?」です。浅原のみならず、

あさはらビジョン完成!

# マコモタケ 好スタート!

## R5年度 マコモタケ植え付け開始!

今年度は昨年度の反省から株分け方法や苗の作り方・植え付け時期を大幅に見直し、3月に株分け・苗作り、4月に代掻き<sup>しろかき</sup>、5月初旬には植え付けと、昨年より2週間も早く作業が終了しました。3月の岡山県視察で地元農家の方から栽培について詳しく教えていただき、それを参考に、トラブルなく終えることができました。この度も地域の農業者2名の力を借りて耕<sup>こ</sup>転<sup>てん</sup>し植え付けまでをサポートしていただきました。

### 代掻き・苗作成

3月に入ると前年度の株を掘り起こし株分けを行いました。丈夫な苗を作るために株を苗床に植えて、一ヶ月もすると15センチほどの背丈になります。同時進行で田んぼの耕耘<sup>こ</sup>して肥料を投入し、4月末に代掻きを行いました。



代掻き



苗づくり

### 苗の定植・水管理

5月3日～5日の3日間で合計200本弱のマコモタケを植付けました。昨年よりも本数・面積ともに増加しているため、関係職員の協力を得て、無事に植え付けが完了しました。昨年度とは違い、早い段階で苗を作成したため成長旺盛で、定植から2週間でもう腰の位置まで葉を伸ばしています。



2022年5月19日の様子  
(昨年)



2023年5月24日の様子  
(今年)

### 佐伯高校生植え付け

今年も佐伯高校生が『SAEKI QUEST』内でマコモタケの植付け

を行いました。昨年は肝心のマコモタケの収穫量が少なく、急遽マコモ

茶の制作になりましたが、今年マコモタケでどのような活動をして

くれるのか楽しみです。高校生の学び

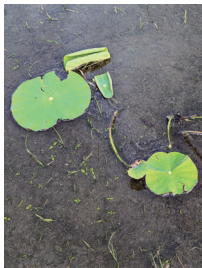
の場となったことは非常にうれしい限りです。



### レンコン・カキツバタ試験栽培

マコモタケの試験栽培農地はトラクターが埋まってしまう田んぼがあり、その対策にレンコンの植え付けも併せて行いました。また、北広島町の八幡高原に視察に行き、7月にカキツバタの株を譲っていただけることになりました。農地を食料生産の場として利用するだけでなく、景観形成を目的に試験栽培を行い、活用方法を研究します。佐伯地域の新しい見所となるように栽培をしていきたいです。

(中山 理公)



レンコン



カキツバタ

## News & Information

### 「佐伯地域の特産品を使った「ちいと山」ジェラート開発中」

いま玖島・浅原を担当する地域支援員で、佐伯地域の特産品を使ったジェラートを共同で企画、この夏からの発売に向けて準備を進めています。作って頂くのは宮島口のジェラテリア Loppさん。広島県内の食材を使っています。他にはないジェラートを作られています。今回の企画に賛同してくださりオリジナルジェラートを作って頂けることになりました。

シリーズ名は「ちいと山ジェラート」。森や田んぼが広がるちよつと山の中に位置する佐伯地域ならではのジェラートです。旬の素材を使いたいのので春夏秋冬で品揃え<sup>しなぞろい</sup>を変え、まずは夏の味(グリーンアスパラガス・梅・ブルーベリーなど)からお届けします。遠方にお住まいのご家族や知人に、また土産にもおすすめです。

### 《商品仕様》

6種8個入り 4200円(税込)

予約販売のみ 限定50セット

予約受付場所 ナガスタ・ひふみ市場・

浅原交流会館・玖島花咲く館ほか

予約受付期間 7/1～

8/20

詳しくは特定非営利活動法人NPOあ

さはらまで。

(浅原交流会館 TEL78-2650)

お申し込みはこちら!!



### 編集後記

この度、新たな地域支援員が活動を始めています。どんな活動をされて、どう地域が変わっていくのか、とても楽しみな自分

がいます。今後も地域支援員間の連携を通じて、素晴らしい地域づくりに取り組んでいきます。また、移住定住促進担当の地域支援員が卒業します。彼の尽力により、廿日市市では空き家バンクHPが立ち上げられ、VR・ドローンといった最新技術により、地域活性化に大きく貢献しました。新天地でのご活躍をお祈りします。(中山 理公)

さよし キュン to 山